2026 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名：ヤマト モビリティ & Mfg.株式会社
代表者名代表取締役：鈴木昭寿
（スタンダード・コード 7886）
問合せ先：執行役員管理本部長 岩本 滋行
（TEL. 03－3834－3111）

# 日産アトラス EV コンバージョントラックの量産・販売を開始

## ～ラストワンマイル EV コンバージョントラックの新たな選択肢～




ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社（代表取締役：鈴木 昭寿、本社：埼玉県川越市、以下「ヤマト・モビリティ」）は、開発を進めてまいりました「日産アトラス（F24 型）ベース EV コンバージョン」の量産および受注販売を開始いたしましたのでお知らせいたします。

近年、物流業界ではドライバー不足や脱炭素対応への要請が高まる中、普通免許で運転可能な小型 EV トラックへのニーズが拡大しております。当社はこうした市場環境を背景に、小型トラックとして広く普及している日産アトラス（F24 型）の EV 化開発を推進してまいりました。
当社では、2025 年に発売した「三菱ふそうキャンターベース EV コンバージョン」に続く第二弾として、本モデルを開発いたしました。本モデルは、ガソリン車・ディーゼル車双方の EV コンバージョンに対応するとともに、配送現場で課題となっているドライバー不足への対応として、ニーズの高い普通免許対応モデル（GVW3.5t 未満）の EV 化にも応えるラインアップとなっております。

これまで実施した「ラストワンマイル配送」を想定した市街地走行をはじめ、長距離・高速・夜間走行を含む「1,000km 走行確認試験」を完遂し、日本の道路環境や気候に適合した高い信頼性と実用性、ならびにラストワンマイル配送に必

要な実用性能および運行安定性を確認しております。

本製品の量産については、EV コンバージョン車両の製造パートナーである株式会社オートワークス京都との連携により、生産品質・安全性を確保した量産体制を構築しており、高い安全性を担保した状態で順次お客様のもとへお届けしてまいります。

既存の車体を廃棄することなく電動化して再利用する「EV コンバージョン」は、車両の製造・廃棄に伴う CO2 排出や資源消費を最小限に抑え、資源を有効活用する「循環型ビジネス（サーキュラーエコノミー）」を体現するアプローチです。既存車両資産を生かしながらスピーディかつ合理的な EV シフトを可能にすることで、環境対応とコスト課題解決を同時に実現いたします。

本モデルを通じて、普通免許で運転可能な車両の EV 化を含め、ラストワンマイル領域の事業者様の課題解決と EV シフトを強力に支援するとともに、今後も持続可能な社会の実現を目指し、循環型ビジネスとしての EV コンバージョンソリューションの提供に取り組んでまいります。

なお、既に複数の事業者より導入に関する具体的な相談および引き合いをいただいており、順次商談および受注活動を進めております。

【EV コンバージョン対象モデル概要】
ベース車両：日産アトラス（F24 型）
対象型式：
ガソリン車：CBF-SQ2F24（普通免許対応仕様 / 準中型免許対応仕様）
ディーゼル車：TKG-SZ2F24（準中型免許対応仕様）

※EV コンバージョン後も、運転に必要な免許区分はベース車両の車両総重量（GVW）に準じます。（準中型対応車が EV 化によって普通免許対応へ変更されるものではありません）

当社の EV コンバージョン事業および日産アトラス（F24 型）EV コンバージョン詳細については、下記をご参照ください。
■ EV コンバージョン事業
https://www.yamato-in.co.jp/ev/conversion.html

■ 日産アトラス（F24 型）EV コンバージョン
https://www.yamato-in.co.jp/ev/atlas.html

■本件に関するお問い合わせ先
ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社 管理本部 IR・広報担当
e-mail：yamato-ir@yamato-in.co.jp